

株式会社旭製作所

昭和25年に操業を開始した小さなガラス工場は、オンリーワンの技術力を発揮し、世界屈指の理化学ガラスの総合メーカーへ。今回は、作れる技術者が世界で3人しかいないという三重管式反応容器を製造する甲斐さんにお話を聞きました。



Profile

プラントグループ
第一製造部
かい しゅんいち
甲斐 俊一さん
(36歳)
2008年4月入社
三池工業高校
土木課卒

「磨いた技術を結集して
つくりあげる気持ちよさ」

何をしている会社？

理化学用ガラス製品・石英ガラスの製造販売を中心に、ガラスプラント設計製作、実験装置販売などを担い「すべての研究者のイメージを現実化する」をモットーに技術革新に貢献してきました。

国内では化学業界上位10社、製薬業界上位10社へ100%納入実績を誇り、海外でも製薬業界上位20社への納入実績95%グループ全体、ガラスプラント製品の海外輸出量は国内No.1です。

入社したときの印象は？

学校の先生に熱心に勧められてエントリーし、採用いただきました。入社してまず驚いたのが、加工前のガラスの原型がパイプ状だったこと。焼いたり吹いたり、成型技術でいろんな形状にできるんです。そして成型過程の熱さとまぶしさも衝撃でした。

現在の業務は？

現在担当している三重管式反応容器は大型で力仕事も多いですが自分には体育会系なので「やっつてる感」があつて、しつくりまわっています。

設計図を基に、いくつかのパーツに分けて個別に製造。最後にすべて合体させる工程の時は最高に気持ちがいいです。それぞれの技術者の技が一つになる瞬間です。

どんな職場？

自分が入社した頃はまだ町工場のような雰囲気、熟練工の先輩方は「見て覚える」「やって覚える」の世界。それに比べると今はきっちり研修もあつてとても優しい(笑)。

ガラスの成型は高温ですし、安全管理は絶対。だからこそ、ルールが明確できちんとした社風ですね。でもレクレーションの盛り上がりはすごいですよ！

当社で働きたいと思う人は、工場内の職人たちの集中力と熱気をぜひ一度感じていただきたいです。



目標と若者へのメッセージ

手作業のため、温度管理などのさじ加減は経験あつてこそ。数をこなして最近やっと少し掴んできた気がします。「どこでしかできないものを作っている」という誇りを持って、目の前のことに全力を尽くすことが自分のすべてです。

若い人は、誰にでもきちんと大きな声で挨拶するとか、基本的なことを大切にしてほしいです。1人で仕事はできませんから、多くの人と積極的にコミュニケーションをとる力を育ててください。



全国の事業所13カ所、国内外のグループ会社16社

三重管式反応容器 ▶

ガラス実験器具の反応系ガラス製品。三層からなる旭製作所では製造できない製品です



◀ ロータリーエバポレーター

多分野の研究に欠かせない、物質の濃縮装置。世界最大の大容量200ℓまで製造可能

会社概要

本社：高浜1978 ☎68-2121

■ 製造業 ■ 資本金 1億円

■ 従業員数 296人(正社員)

■ 事業内容 理化学用ガラス製品・石英ガラス製品の製造販売、装置レンタル、ガラスプラント設計製作・メンテナンスなど

■ 年間休日数 120日

■ 有給休暇取得平均日数 14.4日

■ 採用実績 採用年度：新卒

R3:5人・R4:9人・R5:8人



ホームページ